

平成 2 3 年 6 月 1 5 日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土博物館（青梅市駒木町 1-684 Tel0428-23-6859）

青梅市内の忠魂碑（その 2）

平成 2 2 年の 8 月 1 5 日号に「青梅市内の忠魂碑その 1」と題して、この文化財ニュースで永山公園内の忠魂碑と忠霊塔、新町東禅寺内の慰霊碑、梅郷市民センターの慰霊塔と表忠碑を紹介させていただきました。今回はその第二弾として前掲載せられなかった忠魂碑を紹介させていただきます。

掲載に当たり①所在地、②旧町村名、③建立場所、④碑の規模や材質等、⑤刻印された署名者と肩書き、⑥刻印された建立年月日、⑦刻印された建立者、⑧刻印された碑文、⑨刻印された戦没者数、⑩祭祀管理者等という具合に整理してみました。



1 「忠霊塔」

- | | | |
|-------------------|----------------|-----------|
| ①沢井 2-708-2 | ②旧三田村 | ③沢井市民センター |
| ④大型角柱形白色花崗岩造 | ⑤靖国神社宮司 | 筑波 藤麿書 |
| ⑥昭和 2 9 年 1 1 月建立 | ⑦三田村忠霊塔建設委員会建立 | |



2 「忠魂碑」

- | | | |
|---|----------------|--------|
| ①野上町 1-35-1 番地 | ②旧霞村 | ③春日神社 |
| ④大型角柱形自然石 | ⑤陸軍大将伯爵 | 寺内 正毅書 |
| ⑥大正 3 年 2 月 1 1 日建立 | ⑦帝国在郷軍人会霞村分会建立 | |
| ⑧明治 27・28 年（日清戦争）、明治 37・38 年（日露戦争）戦役戦病者 | | |



3 「忠霊塔」

- | | |
|-----------------|----------------|
| ①小曾木 3-1871 | ②旧小曾木村 |
| ③青梅市立第七小学校西側専有地 | ④大型角柱形白色花崗岩造 |
| ⑤靖国神社宮司 筑波 藤麿 書 | ⑥昭和 30 年 3 月建立 |
| ⑦小曾木村建立 | |



4 「忠霊塔」

- ①成木 4－6 4 1 ②旧成木村 ③成木市民センター
- ④大型角柱白色花崗岩造 ⑤靖国神社宮司 筑波 藤麿書
- ⑥昭和 2 9 年 1 2 月 2 5 日建立 ⑦西多摩郡成木村建立



5 「彰忠碑」

- ①黒沢 3－1 4 1 2 ②旧小曾木村 ③秋葉神社
- ④中型自然石 ⑤希典書 ⑥明治 4 1 年 3 月建立
- ⑦小曾木村大字黒沢凱旋軍人及び有志建立



6 「戦没者慰霊之碑」

- ①友田町 4－2 0 4 ③華蔵院
- ④堂形中型加工石構造 ⑤大僧正 了俊之 書
- ⑥昭和 4 3 年 3 月建立 ⑦慰霊碑建設委員会建立

紙面の都合で6つしか載せられませんでした。この他にも長瀬の市営火葬場の所に旧調布村の「殉国慰霊塔」、成木市民センターに「忠魂碑」があります。

調査をしてみて、いくつかわかったことがあります。碑は明治末期から大正初めにかけて建てられた碑と、昭和30年前後に建てられた碑とに大別できます。前者は主に日清、日露戦争の戦没者を、後者は主に太平洋戦争の戦没者を祀っています。

青梅市は昭和26年に誕生し、その後周辺の4カ村が合併して昭和30年に現在の市域ができあがります。昭和30年前後に建てられた碑は旧村で建立した碑です。この頃の日本は連合国からの主権の回復を機に、自治体などによる碑の再建が進められた時期でもあります。加えて市内においては、これは筆者の個人的な推測ですが、合併に当たり村有林等の村の財産を整理した後の残金等を使用して建てられたのではないかと思います。(旧霞村では、村有財産を整理処分しないで「霞共益会」なる法人を設立したためか、太平洋戦争の戦没者の碑はありません。ただし、新町東禅寺内の碑のように個人が建立した事例もあります。) 他には黒沢の秋葉神社にある碑のように有志で建てた事例もありました。

これらの忠魂碑や忠霊塔は、現在も地域の遺族会などの人々によって大切に保存されています。

〈参考文献〉靖国神社編『東京都忠魂碑等建立調査集』

(文責 神森 正)